



2016年7月7日開催

総合地域医療研修センター支援プロジェクト

「第30回 診療に役立つ漢方治療の知識・技術を系統的に学ぶセミナー」

2016年7月7日に東北大学大学院医学系研究科総合地域医療研修センター支援プロジェクト「第30回 診療に役立つ漢方治療の知識・技術を系統的に学ぶセミナー」が東北大学クリニカル・スキルスラボ5階グループ学習室にて開催されました。セミナーはおもにチュートリアル教育、さらにロールプレイのスタイルで進行いたしました。経験値・学習進度別に分かれた4-6人ほどのグループの中で、医師役(問診担当)と書記・発表者を決め、医師役が模擬患者役のスタッフに対して問診を進めて抽出された情報をもとに、グループ内で弁証から方剤決定まで討論していただき、全体で弁証および治療法の発表を聞いた後に、スタッフから解説を加えました。本日のテーマは「頻尿・排尿痛」でした。初学者グループに対してはスタッフが必要な知識を解説しながら、また進度の高いグループは自分たちで虚実・寒熱・表裏、さらには臟腑弁証まで駆使して、解答の竜胆瀉肝湯を導き出すところまで進みました。ヒントとして煎じ薬の試飲をしたことも付け加えておきます。今回は、医師・薬剤師・学生(医歯薬)を含む15の方に御参加いただきました。次回のセミナーは9月29日(木)に予定しています。今回同様に楽しく学べるように進めてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。(担当者)

